

## 福岡北九州高速道路公社

福岡北九州高速道路公社は、地域の地方的な幹線道路の整備を促進して、交通の円滑化を図り、住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的として、北九州市及び福岡市並びにその周辺地域において指定都市高速道路の建設及び管理等の事業を行っています。

〔設 立〕	昭和 46 年 11 月 1 日
〔所 在 地〕	福岡市東区東浜二丁目 7 番 53 号 Tel 092 - 631 - 3282
〔目 的〕	地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、住民の福祉増進と産業経済の発展に寄与する。
〔事 業〕	北九州市及び福岡市並びにその周辺地域における指定都市高速道路の建設及び維持管理業務等
〔基本財産〕	204,305,600千円 ＜うち本市出資額 26,869,300千円(13.2%)＞
〔決算期〕	毎年3月31日
〔主務官庁〕	国土交通省
〔本市所管〕	建築都市局計画部都市交通政策課 (Tel 093 - 582 - 2518)

### 1 法人の組織

#### (1) 機構図

別図のとおり

#### (2) 役職員数

	人数	平均年齢			
		うち本市出向者	うち本市退職者	うちその他	
役員	7 人	1 人	0 人	6 人	60 歳
職員	203 人	15 人	0 人	188 人	54 歳

#### (3) 役員名

〔理事長〕	田中 康順	(専任)
〔副理事長〕	欠員	
〔理事〕	古賀 武機	〃
〔 〃 〕	深見 一男	〃
〔 〃 〕	今任 収治	〃
〔 〃 〕	廣田 誠秀	(北九州市建築都市局理事)
〔監事〕	末永 昭夫	(専任)
〔 〃 〕	(非常勤) 小幡 修	(福岡銀行常務取締役)

## 2 事業の概要等

- (1) 福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その通行又は利用について、料金を徴収することができる指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕、道路法第 13 条第 1 項に規定する災害復旧その他の管理。
- (2) 国、地方公共団体、西日本高速道路株式会社又は他の道路公社の委託に基づく、(1)の指定都市高速道路の管理と密接な関連のある道路の管理。
- (3) 福岡市及び北九州市の区域並びにその周辺の地域において、その利用について料金を徴収することができる自動車駐車場の建設及び管理。
- (4) (1)～(3)までに掲げる業務に附帯する業務。
- (5) (1)～(4)までの業務の遂行に支障のない範囲内で、国、地方公共団体、西日本高速道路株式会社又は他の道路公社の委託に基づく、道路に関する調査、測量、設計、試験及び研究。
- (6) 福岡県知事の認可を受けて、(1)の指定都市高速道路の新設又は改築と一体として建設することが適当であると認められる事務所、店舗、倉庫、その他地方道路公社法施行令第 5 条に定める施設の建設及び管理。
- (7) 福岡県知事の認可を受けて、委託に基づいた(6)の業務。
- (8) 福岡県知事の認可を受けて、(6)及び(7)に掲げる業務に附帯する業務。

上記の業務内容のうち、有料の自動車専用道路を建設する場合には、まず道路法に基づく路線の認定（法第 8 条）自動車専用道路の指定（法第 48 条の 2）道路区域の決定（法第 18 条第 1 項）都市計画法に基づく都市計画の決定（法第 18 条第 1 項）及び都市計画事業の認可（法第 59 条第 2 項）が必要となります。

さらに地方道路公社法に基づく基本計画に対する道路管理者の同意（法第 9 条第 2 項）道路整備特別措置法に基づく指定都市高速道路事業についての道路管理者の同意（法第 16 条）指定都市高速道路に対する国土交通大臣の許可（法第 12 条）を受けなければならないこととなっています。

### <北九州高速道路>〔整備計画〕

路線網の立案にあたっては、都心と市街地周辺との連結及び市内の各拠点間の連絡強化と市内の交通混雑緩和を図ることを基本方針としています。

北九州市の都心小倉を南北に結ぶ高速 1 号線、小倉と戸畑を結ぶ高速 2 号線、高速 1 号線と高速 2 号線を結ぶ高速 3 号線、門司から八幡を東西に結ぶ高速 4 号線、八幡東区東田地区と高速 4 号線を結ぶ高速 5 号線の 5 路線、全長 49.5km で構成され、高規格幹線道路と連携した放射環状型の自動車専用道路網を形成しています。

#### （高速 1 号線）

小倉南区長野から国道 322 号等の上空を走行し小倉北区下到津に至る 9.2km の路線で、小倉南部の市街地及びその周辺地域と都心との連絡を図るほか、高速 4 号線とは、紫川ジャンクションにて接続し、北九州市の東西地域と小倉との連絡を図るものです。

( 高速 2 号線 )

小倉駅から国道 199 号上空を走行し、戸畑を経て若戸大橋とを結ぶ 4.3km の路線で国道 199 号のバイパス的役割を果たすとともに、若松、戸畑方面と小倉との連絡強化を図るものです。

( 高速 3 号線 )

高速 1 号線と高速 2 号線とを愛宕ジャンクションと東港ジャンクションにて結ぶ 1.8km の路線です。

( 高速 4 号線 )

門司区春日から小倉北区、八幡東区を経て八幡西区馬場山まで東西に長く走行する 31.8km の路線で各都心の連絡を図るとともに、九州縦貫自動車道との接続により、北九州市と他都市との連絡を図るものです。

この路線は、平成 3 年 3 月 31 日に北九州道路と北九州直方道路を日本道路公団から引継ぎを受けたものです。

( 高速 5 号線 )

八幡東区東田地区と高速 4 号線 ( 大谷ジャンクション ) とを連絡する 2.4km の路線で、東田地区及びその周辺地域と小倉都心、黒崎副都心等との連絡強化や戸畑バイパス等市内幹線道路の交通混雑緩和を図るとともに、周辺の地域開発を支援するものです。

### 3 主な事業実績 ( 平成 17 年度 )

#### (1) 営業実績

長野～下道津、小倉駅北～若戸、愛宕 JCT～東港 JCT、春日～馬場山、枝光～大谷、計 49.5km の年間通行台数は 35,499,141 台、料金収入は 167 億 461 万円でした。

また、公社全体における当期の経常収益は 505 億 2,796 万円、経常費用が 504 億 8,017 万円となり、4,779 万円の利益となりました。

#### ( 利用促進 )

公社を取り巻く経営環境は依然厳しいものであり、開通 25 周年を記念したキャンペーンを行うことにより、北九州、福岡の両都市高速の利便性を P R するとともに、北九州高速においては、新北九州空港のオープンと高速 1 号線と小倉東 I C との直結、同 4 号線の金剛出入口の新設を広く P R しました。福岡高速も高速 5 号線の野多目～堤間の供用、E T C の運用開始を P R しました。

#### (2) 建設事業実施概要

高速 1 号線 長野～横代 ( 1.5km )

・前年度に引き続き、小倉東 I C との連結工事を実施し、平成 18 年 2 月に供用しました。

高速 4 号線 春日～馬場山 ( 31.8km )

・前年度に引き続き道路の老朽化部分に対する大規模補修工事を実施しました。

・北九州市等との協力により金剛出入口 ( オンランプ ) を平成 18 年 3 月に供用しました。

#### 4 市の関与の状況

(単位：千円)

区 分	平成16年度	平成17年度
出資金の状況	25,411,800	26,174,300
補助金	0	0
委託料	42,180	0
貸付金残高	41,293,829	39,931,562

#### 5 資産・収支の状況(平成17年度決算)

##### (1) 貸借対照表

平成18年3月31日現在(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	9,279,836,524	流動負債	8,199,120,842
現金・預金	4,553,660,497	短期借入金	0
仮払金	8,130,000	未払金	7,352,489,929
未収収益	1,097	未払費用	815,316,214
未収金	4,709,510,226	預り金	31,051,899
政府助成金調整勘定	0	前受収益	231,000
その他の流動資産	8,534,704	仮受金	31,800
固定資産	1,144,739,495,483	固定負債	859,745,912,574
事業資産	1,116,453,025,713	福岡北九州高速道路債券	316,337,000,000
(福岡高速道路)	764,092,934,866	特別転貸借借入金	192,447,000,991
(北九州高速道路)	352,360,090,847	公営企業金融公庫借入金	13,449,129,741
事業資産建設仮勘定	25,611,495,097	政府借入金	193,412,128,498
道路建設仮勘定	25,611,495,097	長期借入金	135,489,000,000
(福岡高速道路)	25,611,495,097	退職給与引当金	1,735,208,180
(北九州高速道路)	0	資産見返交付金	6,876,445,164
有形固定資産	2,653,234,704	特別法上の引当金等	86,873,046,076
建築物	2,441,353,888	道路事業損失補てん引当	29,751,021,713
構築物	83,506,276	(福岡高速道路)	17,424,873,565
機械・装置	30,382,389	(北九州高速道路)	12,326,148,148
車両・運搬具	31,489,191	償還準備金	57,122,024,363
工具・器具・備品	24,852,960	(福岡高速道路)	76,463,656,800
土地	41,650,000	(北九州高速道路)	19,341,632,437
無形固定資産	21,739,969	(負債合計)	954,818,079,492
電話加入権	6,262,969		
ソフトウェア	15,477,000	基本金	199,730,600,000
繰延資産	1,047,715,735	地方公共団体出資金	199,730,600,000
債券発行差金	726,496,072	剰余金	518,368,250
証書借入金諸費	144,458,125	利益剰余金	518,368,250
調査費	176,761,538	(資本合計)	200,248,968,250
資産合計	1,155,067,047,742	負債・資本合計	1,155,067,047,742

## (2) 損益計算書

自 平成 17 年 4 月 1 日  
至 平成 18 年 3 月 31 日(単位:円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
経常費用	50,480,174,977	経常収益	50,527,963,387
事業資産管理費	8,754,585,693	業務収入	50,374,650,267
福岡高速道路管理費	4,629,468,332	道路料金収入	50,057,172,273
北九州高速道路管理費	4,045,473,390	(福岡高速道路)	33,352,565,703
福岡駐車場管理費	54,229,312	(北九州高速道路)	16,704,606,570
北九州駐車場管理費	25,414,659	駐車場料金収入	186,891,771
一般管理費	1,049,917,400	(福岡駐車場)	131,478,800
一般管理費	918,120,071	(北九州駐車場)	55,412,971
退職給与引当金繰入	30,253,467	道路業務雑収入	130,035,218
減価償却費	101,543,862	(福岡高速道路)	58,634,624
引当金等繰入	28,080,154,239	(北九州高速道路)	71,400,594
道路事業損失補てん引当金繰入	2,383,674,869	駐車場業務雑収入	551,005
(福岡高速道路)	1,588,217,414	(福岡駐車場)	162,900
(北九州高速道路)	795,457,455	(北九州駐車場)	388,105
償還準備金繰入	25,696,479,370	受託業務収入	103,360,599
(福岡高速道路)	18,854,359,053	福岡高速受託業務収入	103,360,599
(北九州高速道路)	6,842,120,317	北九州高速受託業務収入	0
受託業務費	103,360,599	政府助成金収入	293,471
福岡高速受託業務費	103,360,599	政府助成金収入	293,471
北九州高速受託業務費	0	業務外収益	49,659,050
業務外費用	12,492,157,046	受取利息	1,156,845
債券利息	6,161,472,737	雑益	41,255,417
証書借入金利息	1,162,125,064	設立団体負担金	7,246,788
借入金利息	4,875,315,212		
債券発行差金償却	132,519,975		
証書借入金諸費償却	61,062,737		
雑損	99,661,321		
当期利益金	47,788,410		
合計	50,527,963,387	合計	50,527,963,387

別図

機 構 図

